

## 国立環境研究所(総合・年度評価)

### 委員会からの主要意見

#### 現状についての評価・質問等

○全体として、国立環境研究所第3期中期計画の4年度にふさわしい十分な成果を挙げた。研究成果の公表についても適切に発表している。世界を先導する分野がある一方、災害廃棄物、放射能汚染、PM2.5 など、突発した国内の環境問題に献身的に即応し、政策貢献も大きい。

#### 今後への期待など

○これまでの政策貢献型研究を継続・強化しつつ、ウェブサイトの充実やメディアの積極的活用を通じて社会への情報発信をさらに強化して欲しい。

○これまでの重要な研究を継続・発展させるためにも人材の育成・確保が重要である。また、国立環境研究所ならではの大規模プロジェクトや災害環境研究を着実に遂行する体制が必要である。

### 主要意見に対する国環研の考え方

- ①本研究所の研究活動による学術面および社会面の貢献について高く評価いただき感謝申し上げます。引き続き学術分野や社会の期待に沿うべく努力致します。
- ②分野を横断する環境問題については、複数の研究分野が参加する研究プログラムを設定して柔軟に対応してきました。また、突発した重要な環境問題についても所内で分野を横断する形で検討を実施してきた体制を継続していきます。
- ③海外との連携については、アジア諸国の環境問題に関する研究課題を中心にさらに強化しています。また、様々な国際的プロジェクトにも積極的に参画し、強みのある分野・課題で主導していきます。
- ④これまで行ってきた政策貢献型研究を継続しつつ、新たな課題への準備・対応力を充実するとともに、様々なメディアを積極的に活用し、研究成果の社会における認知度を高めます。
- ⑤これまでの研究資産を継承できるよう人材の育成・確保に努力します。残りの第3期中期計画の中で実施するプロジェクトの規模に応じて現在の研究・運営体制を検討すると同時に、意義ある第4期中期計画につなげられるように、次期中期計画も見据えた研究・運営体制を検討します。

## 国立環境研究所(総合・見込評価)

### 委員会からの主要意見

#### 現状についての評価・質問等

○全体として、第3期中期計画の計画通りに研究が進んでおり、このまま順調に目標を達成することと思われる。特に、当初予定していた第3期中期計画の研究目標を変えることなく、第3期中期計画開始直前に発生した東日本大震災に関わる災害廃棄物、放射能汚染といった環境問題に献身的に即応し、当初の研究目標と災害環境研究への対応を行った点は高く評価したい。

#### 今後への期待など

○多くの分野(センター)において、第3期中期計画において十分な成果が上がったことを踏まえ、第4期中期計画においては、国環研だけでなく、日本及び世界の各研究分野のあるべき姿を模索し目標に設定して欲しい。

○第3期中期計画以上に、分野内及び分野間の連携を深め、さらに国内外の大学・研究機関との連携を積極的に進め、国際的なプロジェクトや組織を主導して欲しい。

○政策貢献については、環境省に加え必要に応じ他の省庁との連携についても検討し、各行政分野の長期ビジョンを創造するような方向性を検討して欲しい。

### 主要意見に対する国環研の考え方

① 本研究所の研究活動による学術面および社会面の貢献について高く評価いただき感謝申し上げます。第3期中期計画も残り一年であります。設定した目標を達成し、引き続き学術分野や社会の期待に沿うべく努力致します。

② 第3期中期計画において得られた成果や頂いたコメントを踏まえ、意義ある第4期中期計画の策定を進めます。第4期中期計画の策定に向け、日本及び世界の環境研究、環境政策の動向を十分に把握し、各研究分野において日本の環境研究の総本山としての自覚と使命をもって進めて行きたいと思っております。

③ 海外との連携については、アジア諸国の環境問題に関する研究課題を中心にさらに強化しています。また、様々な国際的プロジェクトにも積極的に参画し、強みのある分野・課題で主導していきます。

④ 政策貢献については、環境省をはじめとし地環研やその他の省庁との協力体制をより一層整え、各行政分野のビジョン策定に貢献することを強く意識していきます。